

長野での支援活動のご報告と募金のお願い

グリーンコープ共同体

15都県に及ぶ広範囲に甚大な被害をもたらした台風19号は、グリーンコープの産直生産者やお取引先工場にも甚大な被害をもたらしました。

10月14日～11月2日までに集まった支援募金は約2,500万円と、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。組合員の皆さまから寄せられた支援募金は被害を受けた生産者やお取引先、そして被災された皆さんへの支援に活用させていただきます。

グリーンコープでは引き続き、被害が大きかった長野県の産直産地「ハケタ会」(赤沼地域)を中心に支援を行っています。

被害は甚大で、継続した支援が必要です。引き続き、災害支援募金へのご協力をお願いします。

<産直りんご生産者グループ「ハケタ会」>

17名中10名が決壊した千曲川流域(赤沼地域:新幹線が冠水した地域です)に住んでおられます。家屋・りんご園・倉庫・農機具全てが浸水してしまいました。

10月24日(木)～11月1日(金)生産者のご自宅の土砂の片付けをおこないました。

写真は11月1日(金)に撮影したもので、溝内に泥が詰まっていたものを片づけているところです。



被災をまぬがれた生産者の倉庫の一部をお借りして物資を保管しています。この場所を起点として物資の支援活動を行っています。

食糧、コンロ、衣類などの物資を必要に応じてお届けしています。生産者みなさん、とても感謝していました。



11月4日(月)赤沼地区より車で5分ほどの豊野西小学校の避難所を訪問してきました。衣類や歯ブラシなどを届けてきました。



壁の様子から2m以上も浸水していたことが確認できます。

農機具や車はもちろん自宅にある畳や家具、電化製品が水没してしまい使用出来なくなっていました。

食事に使う電子レンジや炊飯器、カセットコンロなども必要な生産者さんのもとへお届けしました。

台風19号災害支援募金

申込番号	9983	一口	200円
	9984	一口	500円

特別申込欄に4ケタの申込番号と口数を記入してください。
 【例】申込番号9983を数量欄に「2」申し込まれた場合400円のカンパとして受け付けさせていただきます。
 ※この申込番号は11月25日週まで受け付けます。

グリーンコープ災害支援の内容はInstagram「災害支援 by グリーンコープ」にて日々配信しております。

QRコードをスマートフォンのバーコードリーダー等のアプリを使って読み込んでください。

インスタ情報配信中!



～引き続き支援を行っていきます～

- ◇被害を受けたりんごは衛生上の問題もあって、出荷することができません。加工用としても出荷することができません。けれども、来年、また花を咲かせるため、りんごの収穫は適期に行わないといけません。
- ◇11月4日からはグリーンコープ青果生産者も被災した仲間の支援に入っています。以降もたくさんの生産者が支援に入る予定となっています。



長崎県の産直南島原の若手の生産者4名（写真は3名）が第一弾で駆けつけてくれました。
※産直南島原はバレイショや玉ねぎを無農薬で栽培している産地です。

産直生産者が栽培したりんごをたくさん食べて、被害を受けた生産者を応援しよう！

36号



今回ご案内している「産直二つ葉りんご(ふじ)規格外」は特別栽培の認定を受けたりんごです。減農薬が難しいと言われていたりんご栽培において、慣行基準の半分以下の農薬使用で栽培された貴重なりんご(ふじ)です。



～りんご利用代金の3%を被害を受けた生産者への支援金として活用します～

台風19号の被害は家屋や建物に加え、りんご園地にも甚大な被害をもたらしました。今季収穫できるものがなく、収入もありません。そこでグリーンコープでは、今季、組合員の皆さまが利用されたりんご(全品目を対象)代金の3%を生産者への支援金として活用させていただきます。来年も安心・安全な「産直りんご」を栽培いただけるようにみんなでたくさん食べて、生産者を応援しましょう！

岩手中央農協(りんご部会 北田部会長)

この度の台風19号による被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

同じ生産者として、実りの秋を襲った甚大な被害に心を痛めております。

当産地ではグリーンコープの取組みやその思いに賛同し、被災された地域の一日も早い復旧・復興を心より願っております。

<福島県相馬市、宮城県丸森町>



10月31日、相馬市の介護予定施設を物資拠点とし、タオル、衣類、即席みそ汁、缶詰、土のう袋などを相馬市、丸森町の在宅被災者宅に現地の介護施設スタッフの方々が配布しています。

丸森町ではまだ車が入れない地区があり、ボランティアも行けてない地区があります。そのような地区から要望を受け、片付け用のガラ袋、トンパック、土のう袋などを11月7日にお届けしました。

<宮城県女川町>



台風と大雨で収穫前のイチジクは、落下、腐れが発生し、全体の70%位の被害が発生しました。腐れたイチジクの撤去作業と、辛うじて助かったイチジクの収穫支援を共生地域創造財団スタッフとグリーンコープ職員で行っています。

<岩手県宮古市、山田町>

10月29日、タオル、ゴム手袋、皮手袋などをお届けしています。津波対策用の防潮堤の設置で山側からの雨水がはけきれず、プール状態になった地域もあり今後の対策が必要になっていました。宮古市白浜地区、山田町田の浜地区で共生地域創造財団を通じて物資支援、炊出し支援を行っています。



まだ、生活環境が整っておらず、支援が届きにくい在宅被災者支援を中心に必要な支援活動を進めていきます。